



持続可能な未来に向けて、 小諸市の新たな挑戦！

小諸市長
柳田 剛彦

新年、明けましておめでと
うございます。

市民の皆様におかれまして
は、希望に満ちた輝かしい新
春をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

平素は、市政の推進に格別
なるご支援、ご協力を賜り、
心から御礼を申し上げます。

さて、昨年11月に判明した
野岸小学校管理棟（南校舎）
の耐震改修未実施問題につき
ましては、児童・保護者の皆
様をはじめ市民の皆様に、大
変なご迷惑とご心配をお掛け
いたしました。あらためまし
て、心からお詫びを申し上げ
ますとともに、一日も早い仮
設校舎の建設など、安全・安
心な学習環境の整備に全力を
尽くすことはもとより、速や
かな原因究明を行い、再発防
止策を講じてまいります。

昨年を振り返ってみますと、
「新市庁舎」「市民交流センタ
ー」「新図書館」が完成した
ほか、「新ごみ焼却施設」も、
地元区の皆様のご理解とご協
力により1月4日から本格稼
働の運びとなるなど、大型重
要事業が現実の形となった一
年でした。

市長就任当初は、多くの市
民の皆様とお約束した方向性
をめざして誠心誠意努力をい
たしましたが、既に引き返す
ことのできない段階になって
いるという現実と直面し、方

針転換を余儀なくされる結果
となりました。

また、「少子化」「高齢化」「人
口減少」が加速度的に進む今
日、将来にわたって小諸市が
持続可能な自治体であり続け
るためにも、これらの施設を
できるだけ多くの市民の皆様
に活用していただき、中心市
街地の賑わいにつなげていき
たいと考えております。

今後の新たな取組みといた
しまして、国が進める環太平
洋経済連携協定（TPP）、ま
た農業従事者の高齢化など
により、特に小諸市のような中
山間地農業の衰退が懸念され
る中、農業者の所得向上や競
争力の高い地域農業の確立に
向け、農産物等のブランド化
の推進や6次産業化を進めて
おります。販売加工拠点施設
の整備やスローライフをキー
ワードとした「滞在型テーマ
パーク」の実現などにより、地
域農業と経済の再生を図って
まいりたいと考えております。

このほか、市民の皆様の健
康増進やスポーツ振興、地域
ブランドの向上や交流人口の
増加等に向けた取組みとして
「浅間山麓高地トレッキング
エリア構想」を進めておりま
すが、既に湯の丸高峰併用林
道などを活用したトレッキン
グの受入れも行っております。
今後は、湯の丸高峰併用林
道や天池総合グラウンドなど

の整備・改修を行うとともに、
「青少年の家」の有効活用に
についても検討してまいります。

また、「自己決定・自己責
任」による行政経営が求めら
れる時代、小諸市の進むべき
方向を示す羅針盤となる「第
5次基本構想」の策定に向け
て、これまで「地域のお宝さ
がし」「地区懇談会」「市民会
議」など、多角的・複層的な
市民参画により取り組んでま
いりましたが、今年度中に策
定すべく、3月定例市議会に
議案として上程する予定とな
っております。

さらに「小諸市まち・ひ
と・しごと総合戦略」では、
「若い世代が家を持てるま
ち」をコンセプトとし、移
住・定住、妊娠・出産・子育
て・教育、住みやすい環境づ
くり、雇用の創出などについ
て、効果的・効率的な施策を
実施してまいります。特に、
「企業立地」「移住・定住」を
専門的に扱う部門として、商
工観光課に企業立地定住促進
係を新設し、「人口ビジョ
ン」の実現をめざした取組み
を進めております。

結びに、市民の皆様のご健
勝とご多幸を心からご祈念申
し上げますとともに、市政に
対するなお一層のご理解とご
協力をお願い申し上げます。
ご挨拶いたします。